

日本イエイツ協会

第 59 回大会

プログラム

2023 年

11 月 12 日(日)

会場:立教大学池袋キャンパス 7 号館

(本会場 7101 教室、控え室 7151・7152 教室)

171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

JR 池袋駅 C3 出口より「立教通り」を徒歩 3 分

<https://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/>

日本イエイツ協会事務局

〒606-8051 京都市左京区吉田二本松町

京都大学人間・環境学研究科

池田寛子研究室内

E-MAIL: info@the-yeats-society-of-japan.jp



* 控室には貴重品を残さないようにお気をつけください。遺失物や盗難について事務局と開催校では責任を負うことができません。

* 茶菓、ご昼食につきましては、各自ご持参いただき、飲み物については自動販売機などもご利用ください。日曜ですから学食は開いておりません。大学付近のコンビニや飲食店などをご利用ください。

9:15 受付開始

9:45~10:00 挨拶

日本イエイツ協会会長
駐日アイルランド大使館代表

浅井 雅志

司会 池田 寛子

10:00~11:30 研究発表

10:00-

1. 「イエイツ作品における衣服のモチーフの展開

—「キャスリーン・ニ・フーリハン」における衣服の象徴性—

岡田 咲

司会 三好 みゆき

10:30-

2. 「イエイツとキム・ヨンナン

— “While I Stand on the Roadway, / or on the Pavements Grey” — 」

山内 正太郎

司会 佐藤 容子

11:00-

3. 「シェイマス・ヒーニー詩集 *North* の日本における受容と発展

—北畑光男詩集『飢饉考』を中心に— 」

水崎 野里子

司会 中尾 まさみ

12:00~13:00 総会および昼食

13:00~14:00 講演 **Keynote Lecture**

Hegel, Fenollosa, Pound, Yeats, and the “Single Clarified Impression” of Nō

講師 Andrew Houwen

司会 Akiko Manabe

14:15~17:00 シンポジウム 「W.B.イエイツの亡霊 — イエイツ作品の共時的・通時的な文脈と影響について」

司会・講師 坂内 太

講師 岡室美奈子 イエイツ、ベケット、濱口竜介の作品における言葉の起源をめぐって

講師 小林広直 「アイルランドの無冠の王」を追悼する

——ジェイムズ・ジョイス『若き日の芸術家の肖像』から、W・B・イエイツ「パーネルの葬儀」へ

講師 坂内太 彷徨い続ける女性たち

——『キャスリーン・ニ・フーリハン』から『ラフタリーの丘で』へ

講師 諏訪友亮 “To write for my own race”

——イエイツとウォルコットに見るポストコロニアルの幻影

17:00-

閉会の辞

日本イエイツ協会事務局 池田寛子